

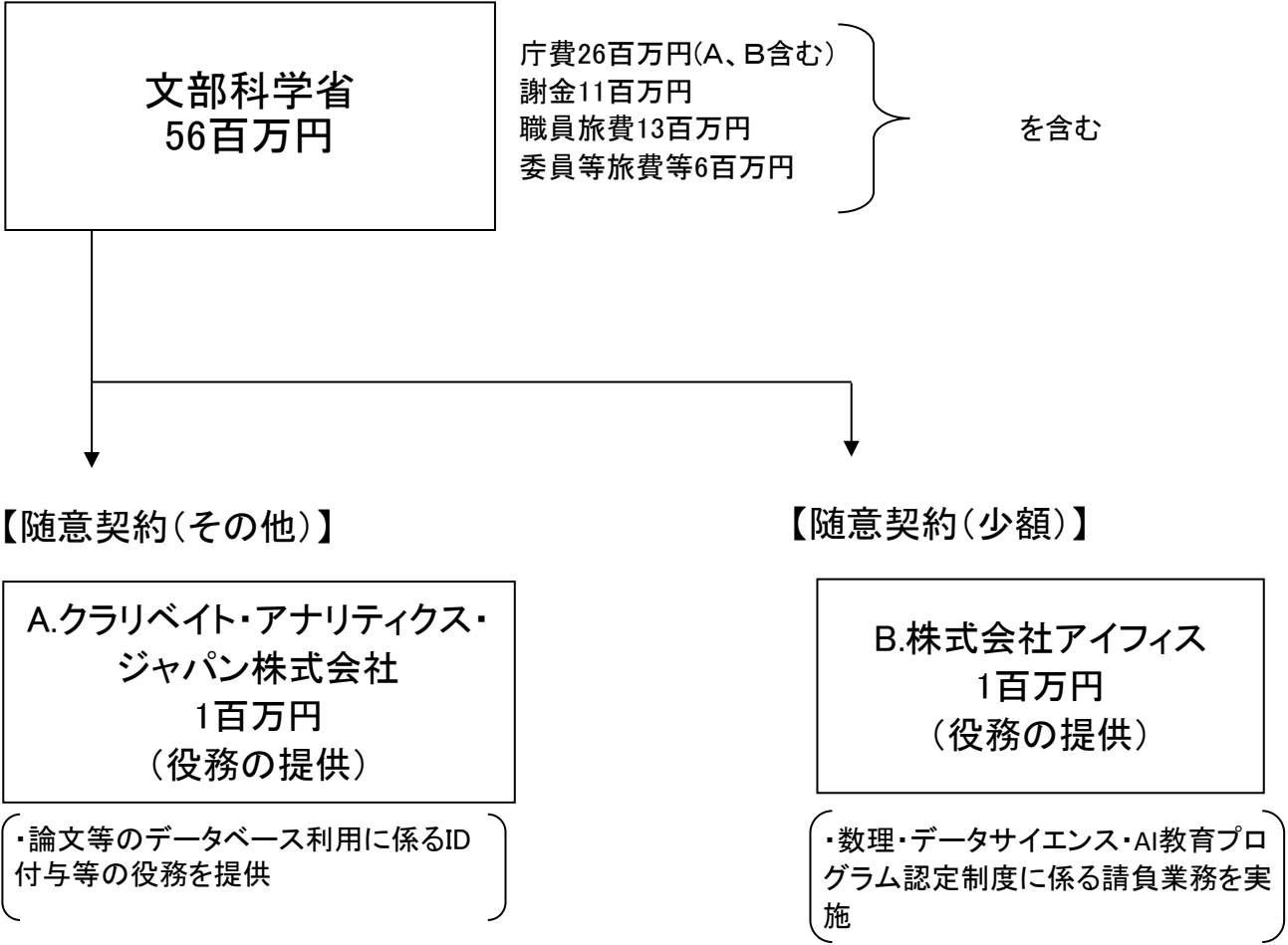
	令和5年度行政事業レビューシート					( 文部科学省 )	
事業名	高等教育改革の総合的な推進等				担当部局庁	高等教育局	作成責任者
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	高等教育企画課	高等教育企画課長 小幡 泰弘	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	-		
政策	4 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20220907-mxt_kaikessou02-000023355-0137.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	個別事業に直接関連つかない高等教育に関する政策の遂行を目的として、高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案の為の検討材料を得るなど、主に政策・施策・事業立案段階において、必要となる行政事務を実施する。						
現状・課題 (5行程度以内)	高等教育に関する政策の遂行にあたっては、個別事業に関連するものだけでなく幅広い政策課題を専門的な見地から検討し、さらに政策を高等教育関係機関に対して広く説明する必要がある。 そのため、外部有識者が参画する会議の開催や、関係機関等への政策説明のための会議出席などの行政事務が必要である。						
事業概要 (5行程度以内)	高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案の為の検討材料を得るなど、個々の事業に直接関連つかない以下の行政事務を実施し、その為の事務的経費(謝金、旅費、庁費)を支出する。 ・特定の政策課題を専門的な見地から検討するために、外部有識者が参画する会議を開催 ・関係機関等への政策説明等の会議出席 ・その他、高等教育改革の総合的な推進等に資する一般行政事務						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	76	76	78.3	84.9	88.5
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	76	76	78.3	84.9	88.5	
	執行額(G)		45	46	56		
	執行率(%) =(G)/(F)		59%	61%	72%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		59%	61%	72%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	高等教育振興費			昨年度より増額となった理由は、前年度より専門教育に係る会議開催の増加が見込まれたため。 ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。		
	(目)	庁費	30.8	32			
	(目)	委員等旅費	19.4	20			
	(目)	職員旅費	17.8	19			
	(目)	諸謝金	15.3	16			
	(目)	外国人招へい旅費	1.7	2			
		その他	▲ 0				
	計(A)		84.9	88.5			

活動内容① (アクティビティ)		高等教育施策を検討する上での会議開催にあたって必要となる諸謝金、旅費、印刷製本費及び雑役務費などを含む庁費を効果的に用いることにより、会議の円滑な運用・実施を行うことで、政策提言等の立案・企画を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		会議設置によって必要な政策提言等の議論の場を設ける	設置会議数(主な活動実績として、当該年度に開催した有識者会議の設置数を記載)	活動実績	個	17	20	26	-	-
				当初見込み	個	-	-	-	21	21
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	設置した会議体において、有識者による高等教育行政に関する意見や道筋を議論し政策の方向性に関する報告書等をまとめることで、高等教育行政の改革が総合的に推進されることとなるため。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		高等教育改革の総合的な推進	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		各協力者会議でとりまとめ、公表した報告書件数(令和2年度:4件、令和3年度:7件、令和4年度:3件)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案のための検討材料を得るなど、所掌する政策の遂行を目的として、主に政策・施策・事業立案段階において必要な行政事務を実施し、その為の事務的経費(謝金、旅費、庁費)を支出するもので、本事業の実施のみで直接的な成果を求めるものではないことから、定量的な成果目標を設定することは適さない。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案のための検討材料を得るなど、所掌する政策の遂行を目的として、主に政策・施策・事業立案段階において必要な行政事務を実施し、その為の事務的経費(謝金、旅費、庁費)を支出するもので、本事業の実施のみで直接的な成果を求めるものではないことから、複数のアウトカムを設定することは適さない。								

活動内容② (アクティビティ)		高等教育施策を検討する上での会議開催にあたって必要となる諸謝金、旅費、印刷製本費及び雑役務費などを含む庁費を効果的に用いることにより、会議の円滑な運用・実施を行うことで、政策提言等の立案・企画を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		設置した会議において、必要な政策提言等の議論や審議を行うため、会議を開催する	会議開催数(主な活動実績として、当該年度に開催した有識者会議の開催回数を記載)	活動実績	回	77	65	70	-	-
				当初見込み	回	-	-	-	71	73
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	設置した会議において取りまとめられた高等教育行政に関する政策提言や審議結果等を基として、法改正など法案提出に繋ることが考えられ、高等教育行政の改革が推進されるため。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		高等教育改革の総合的な推進	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		高等教育行政に関する施策の策定数(令和2年度:1件、令和3年度:0件、令和4年度:2件) ※「施策の策定数」を厳密に定義することは困難であることから、便宜上、高等教育行政に係るものとして国会に法案の提出を行った件数を記載。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案のための検討材料を得るなど、所掌する政策の遂行を目的として、主に政策・施策・事業立案段階において必要な行政事務を実施し、その為の事務的経費(謝金、旅費、庁費)を支出するもので、本事業の実施のみで直接的な成果を求めるものではないことから、定量的な成果目標を設定することは適さない。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		高等教育行政の今後の方向性等に関して企画・立案のための検討材料を得るなど、所掌する政策の遂行を目的として、主に政策・施策・事業立案段階において必要な行政事務を実施し、その為の事務的経費(謝金、旅費、庁費)を支出するもので、本事業の実施のみで直接的な成果を求めるものではないことから、複数のアウトカムを設定することは適さない。								



資金の流れ  
(資金の受け取り先が  
何を行っているかにつ  
いて補足する)  
(単位：百万円)



費目・使途  
(「資金の流れ」において  
ブロックごとに最大の金  
額が支出されている者につ  
いて記載する。費目と  
使途の双方で実情が分  
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	論文等のデータベース利用に係るID付与等の役務を提供	1	雑役務費	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に係る請負業務を実施	1
計		1	計		1

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

